飼い主が溺愛される話

人間化したペットに❤

ずっと
狂いそう
だった

自分の
愛する人が――

ぐぃ

ずちゅ…っ

他人に
挿れられ
腰を振る
それを
見るだけの
日々――

あっ…

ごめん、ちょっと
胸、痛いかも…

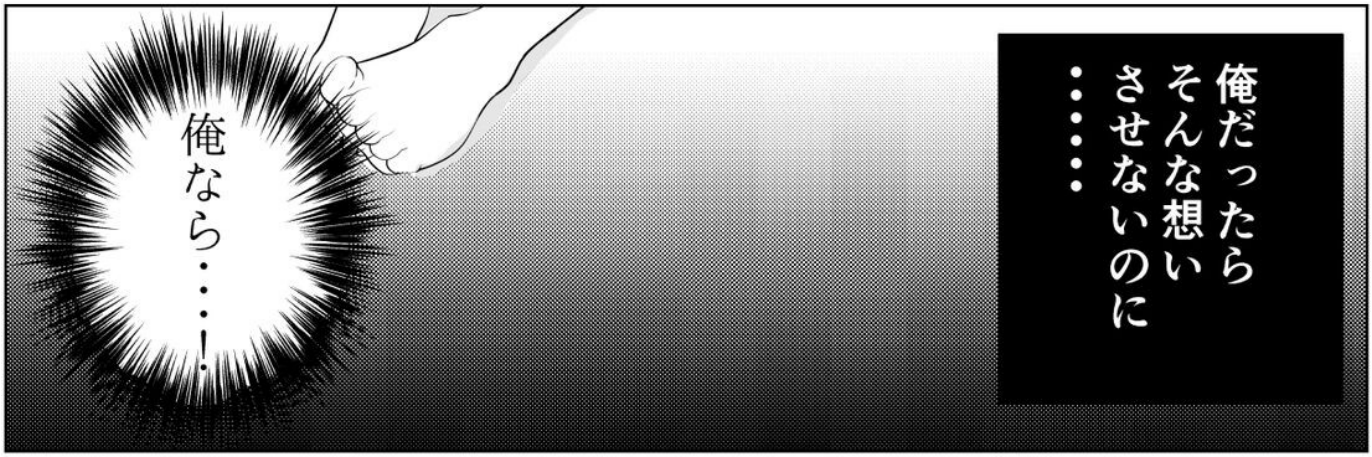
ワナワナ

…ったく

フツーもっと喘ぐだろ
…気分出ねえなぁ

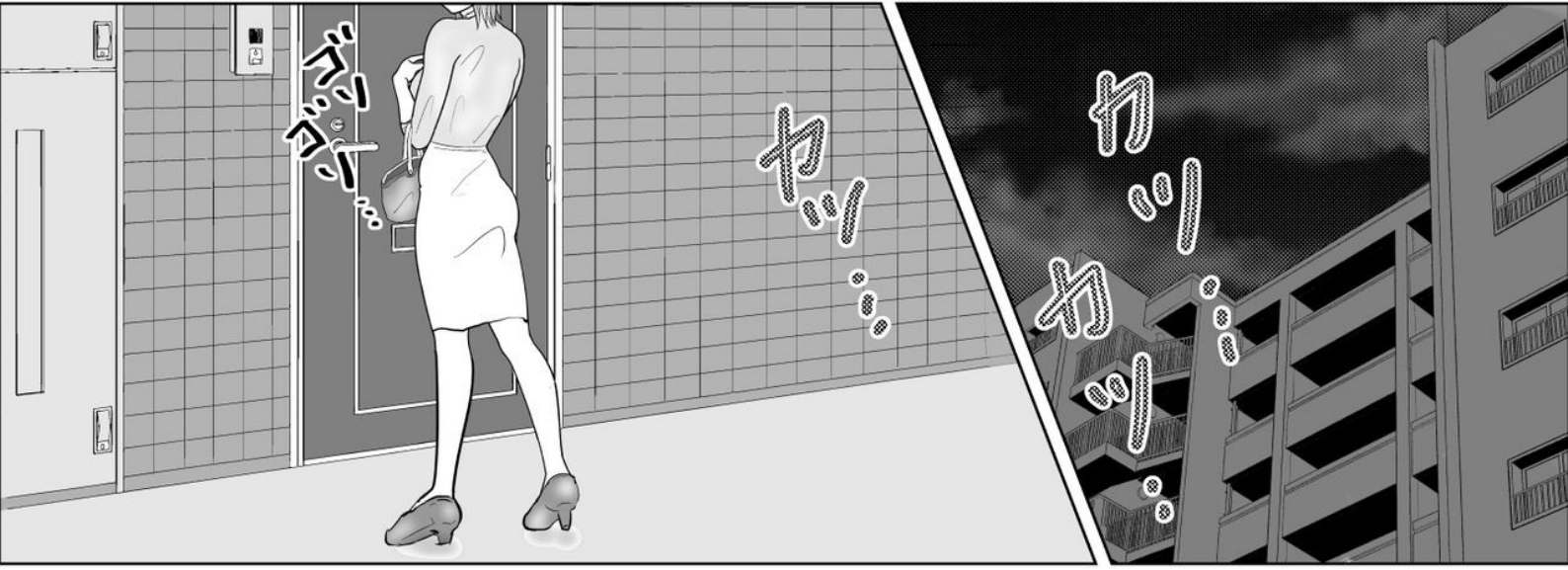
ていうか
お前不感症だろ
ホントつまんねぇ…
…っ！
愛する人は
酷い言葉に
傷つけられ

相手の男が
帰るたび…
ビクッ
はっ
少しほっとしたように
自分で自分を慰めてから
いつも眠りにつく——


俺だったら
そんな想い
させないのに
……
俺なら…！

・・・って
思ってた
んスけど
俺の夢を
叶えるのは
ムリっぽいんで
来世に
かけることに
したっス！
フェレットの俺が
転生して飼い主の
恋人になる・・・！
切り替え
早いねぇ・・・
テンくん
まあやっと
あの嫌な男と
別れたのは
よかったよね
まぐまぐ
そっすね～
そらさん、ホント
男運
ないっス
もんね～
ごろん

僕としては―
またヤバい男に引っかかるより
もぐもぐ
それこそ君たちに付き合って欲しいよ
そういえばスーさん元カレ野郎に『俺カメ嫌い』って
ぷぷぷ

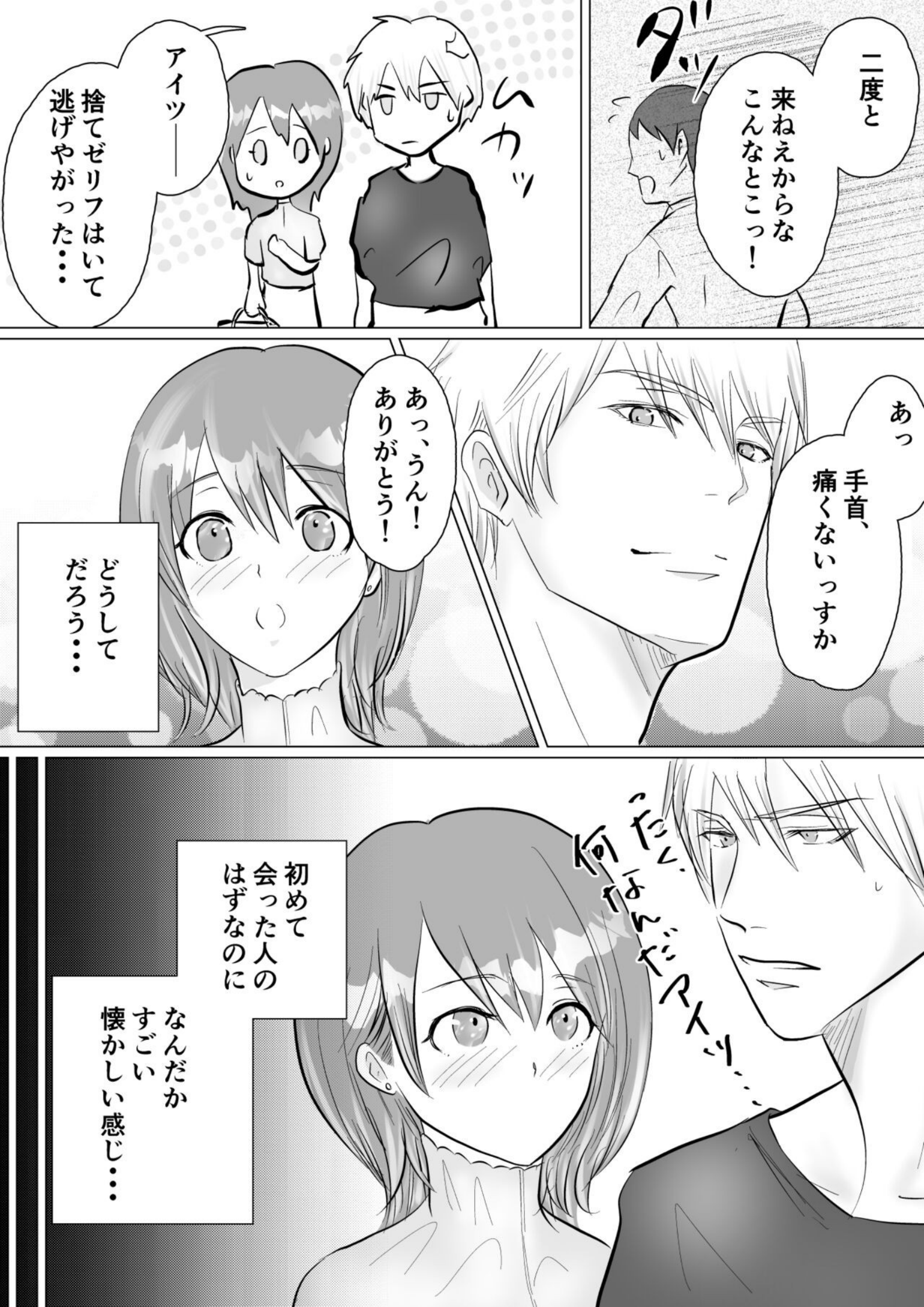

カツカツ…
ヤバ…
ガサゴソ…

疲れた…
知らない人ばかりで飲んじゃった――
ガチャ…
あっ、そらちゃん…！

えっ…
よかった追いつけた…
さっきまでさぁ…一緒にタクシー乗ってたじゃん
ビクッ
えっ!?
うそ…乗り合わせたタクシーから着いてきたの？

あのっ、でも
飲みのあと
タクシー皆で
乗っただけで・・・
そらちゃん
彼氏いないん
だよねぇ～
えっ・・・
それで合コン
来るのは
期待してるでしょ
ちがっ・・・！
急に呼ばれて
飲みだと思ったら
合コンだったんです！
ぞわっ
言い訳
すんなよ～
ヤバい、この人
酔ってて
話通じない・・・
いいからさぁ
はやく
家入れろよ！
ぐいっ
痛っ！
痛い――
怖い――
どうしよう
誰か
たすけて・・・――

…おい
手ェ離せよ
お前…
えっ…！
本当に――
こんな
夜中なのに…
なっ…
なんだ
テメェ…っ！
助けに来てくれた
人がいた…！
クソっ…
彼氏いんなら
先に言えよッ！


二度と
来ねえからな
こんなとこっ！
ダッ
ヘカッ
アイツ——
捨てゼリフはいて
逃げやがった・・・
あっ
手首、
痛くないっすか
あっ、うん！
ありがとう！
どうして
だろう・・・
だんだんだんだ

バタン…
あっ…
ごめん！
ぼーっとして
部屋に入れちゃって
いえ――
さっきのヤツが
まだ外にいるかも
しれないんで
ドキ…
いったん
一緒に入る方が
いいと思います
うわんっ
ホントありがとう…！
よかったら、
名前聞いてもいい？
…っ！
やばい、名前…
考えてなかった――
えっと…

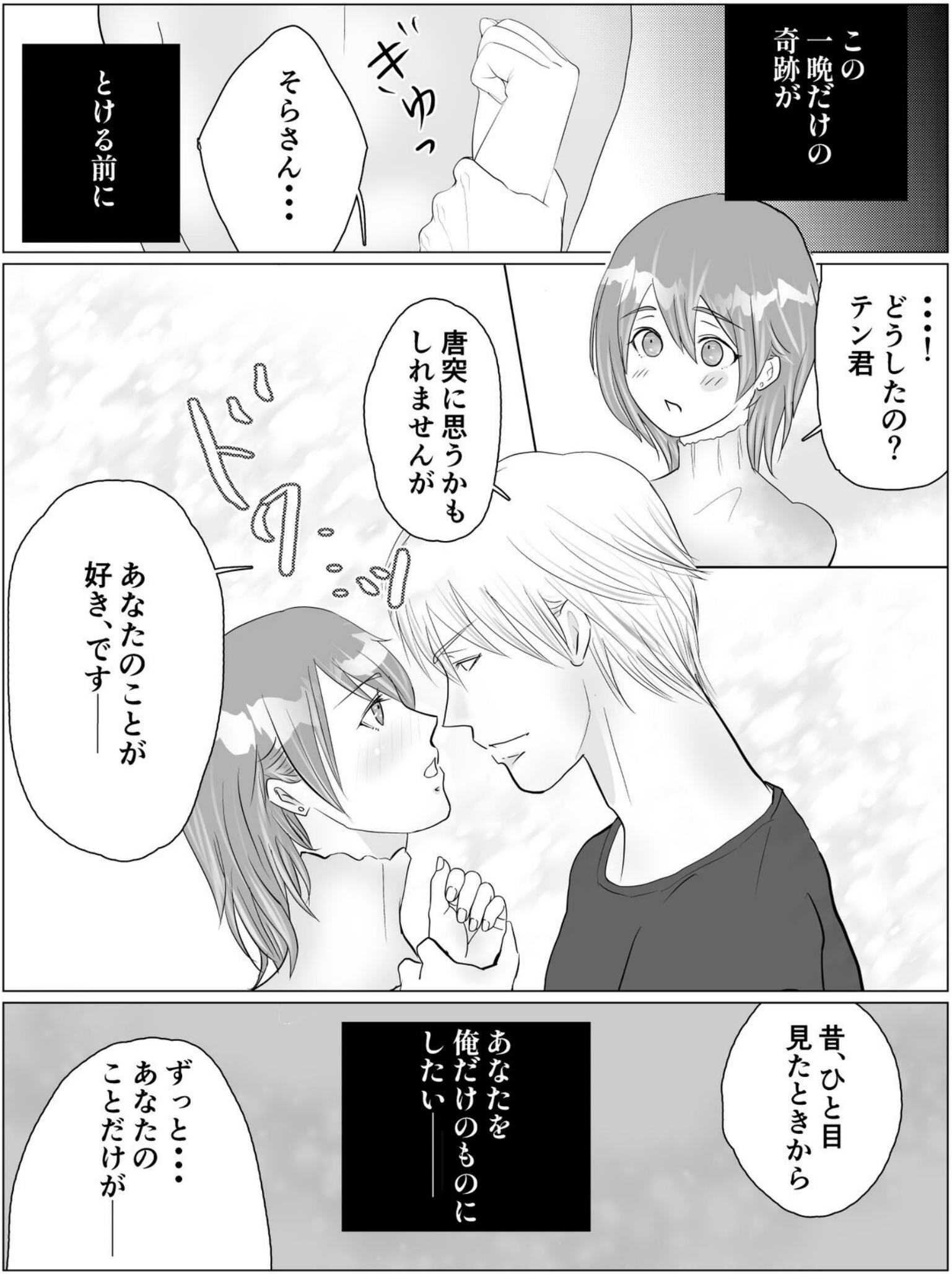
俺の名前
……
テン・・・
って言います
実は・・・
そらさんの
隣に住んでて
えっ！
お隣さんなんだ！
ごめんね、私ぜんぜん
知らなくって・・・
よかったら
お茶でも
飲んでって
あざっす
ペットボトルで
ごめんねー
いえ、
あざっす

・・・そうそう！
テンくんって
うちのフェレットと
同じ名前なの！
今、会わせてあげたいって
思ったんだけど・・・
ドキッ
フェレットって
夜行性なのに
夜起こすと怒るコだから
また今度ね
はい是非！
あっちの部屋で
亀と一緒に
飼ってるんだ～
カメは
スーさんって
名前なの♥
テンくん・・
本当さっきは
ありがとね
いえ、ホントに
ブジでよかったっス
怖い人だし
酔ってるし
テンくんがいなかったら
どうなってたか・・・

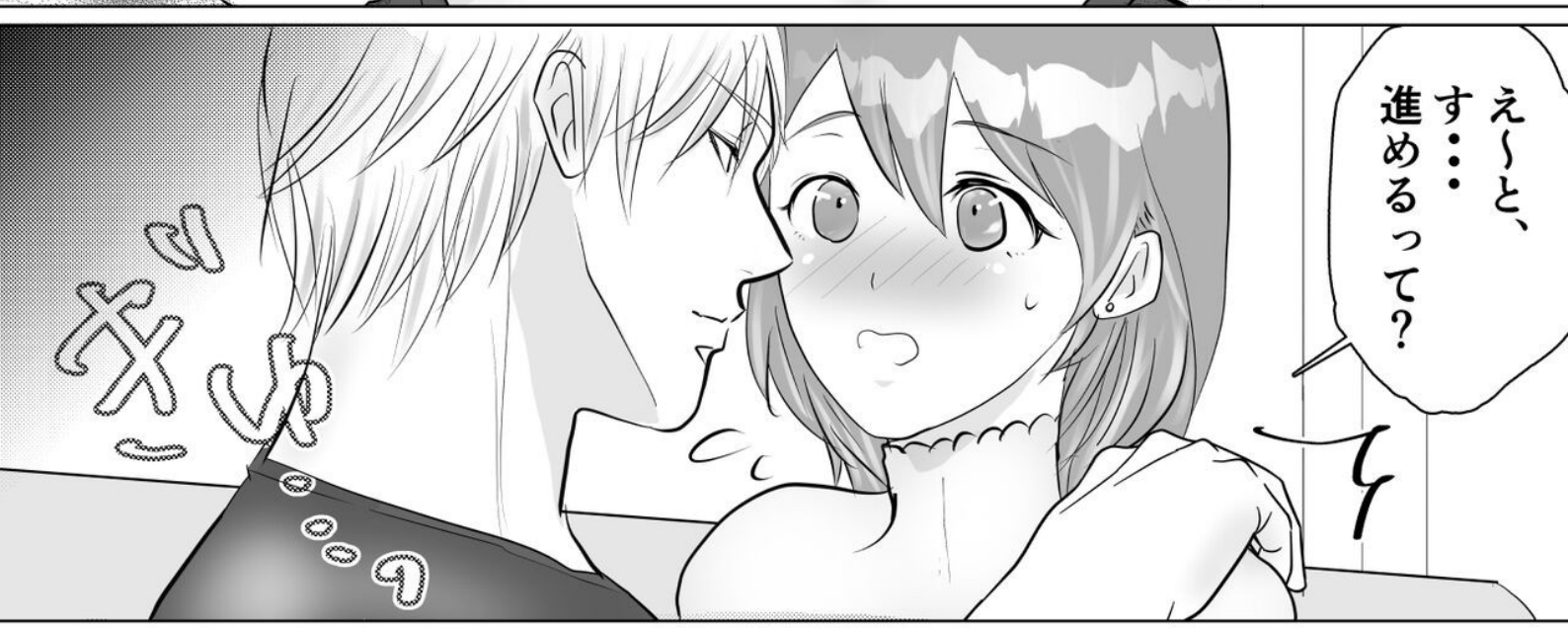
そらさんって
元カレ・・・も、
怖い系っすか？
えっ！
なんでわかるの？
えっと・・・
たまに男の
怒鳴り声とか
聞こえたんで・・・
づっ・・
恥ずかしい・・・
元カレも・・・そっか
怖い系かも・・・
付き合ってから
変わっちゃうん
だよね・・・
今日は、友達に
「飲み会おいで！」
って言われたら
合コンだったの・・・
初対面の人と話すの
苦手だから・・・
いっぱい飲んじゃって
ああ・・・それで
さっきのヤツと
そう・・タクシーで
乗り合わせたら、
家までつけられて・・・

ていうか
そらさんって、
自覚なさそうだけど
めっちゃ
可愛いんだから
いろいろ
気をつけた方が
いいっスよ
えっ！
そんな・・・
そんなこと・・・
初めて
言われた・・・っ
ドキ・・・
どうしよう
ドキドキして
顔見れない・・・
テンくんの言葉
うれしくて・・・
そらさんは、
マジで素敵なんで
ドキ
だから
自信持って
ください——

うん！
テンくん
ありがとう・・・！
どうしよう・・・
嬉しい・・・
目の前に
愛する人が・・・
私・・・
がんばるね！
触れられる
距離にいて
夢にまで見た
この状況に・・・
おかしくなりそうだ
テン君・・・
よかった――
変身させて
あげられた
今、そらさんが
大変だから
助けてあげて
もじっ
あと、
僕の魔法の効果は
一晩だけだから・・・
わんぱっ
・・・え


この
一晩だけの
奇跡が
とける前に
ぎゅっ
そらさん・・・
・・・!
どうしたの?
テン君
唐突に思うかも
しれませんが
あなたのことが
好き、です——
昔、ひと目
見たときから
あなたを
俺だけのものに
したい——
ずっと・・・
あなたの
ことだけが——

え、え、
えええええっ!?
もし
そらさんが
嫌じゃなければ
このまま・・・
進めてもいいっすか?
テ、テン君
えっ!?


え~と、
す・・・
進めるって?
チュ

うそ――!
チュ
テン君と
キス・・・
しちゃった・・・
――いきなりで
すみません・・・
でも、本気なんで・・・

えっ
な・・・んで
何がっすか？
私なんて
ホント全然
美人じゃないし
抜けてるし・・・
多分テンくんより
結構年上だし・・・
・・そらさん
ちゅっ
もう――
ネガティブ発言
禁止です――
わーっ――
もう・・・！
ドキドキしすぎて――
大丈夫・・・
ドン！！
あなたが素敵なコト
俺は知ってるんで――

本当に
大好きなんで——
ドクン…
こんな言葉
初めて…
テンくんのこと
知らなかったのに
…
テンくん
すごい
嬉しい…

どうしよう
好きになっちゃう——
でも…
テンくんすごい
かっこいいし
私なんかより
もっといい人が…
ちゅっ♡
そらさん
もう
ネガティブ禁止っす
…うん！
せめて
今夜だけは…

今夜だけは
俺のワガママなんですけど――
俺のことだけ考えて欲しい・・・です――
うん・・・！
なんでだろうテン君って・・・
初めて話したのにずっと昔から知ってる感じ・・・・
嬉しいっす・・・！
なんか照れますね
うんっ
じゃあ続きしましょう、か
えっ

ちょ・・・
まだ心の準備がっ・・・！
ドキッ
ふふっ可愛いけど――あんま待てないんで
あっ・・・テンくんのキス・・・
ちゅっ
ちゅ
ちゅっ
ちゅ・・・
気持ち良すぎる何これ・・・っ
はぁ・・・
テン・・・くんっ
やばいかわいいっす
ゴクッ・・・
ベッドのほう行きましょう――

テンくん・・・
ごめん！
ちょっと聞いて
欲しくて――
どうしました？
テンくんになら
全部――
打ち明けられる
・・・・・
私ね・・・
いままで男の人と
したときに・・・
――えっと
気持ちよかったことが
なくて・・・
テン君も――
つまんない、かも・・・
・・・そらさん
俺は
大丈夫です
あなたに
気持ちよくなって欲しい
だけなんで――
ドク・・・！
えっ・・・！

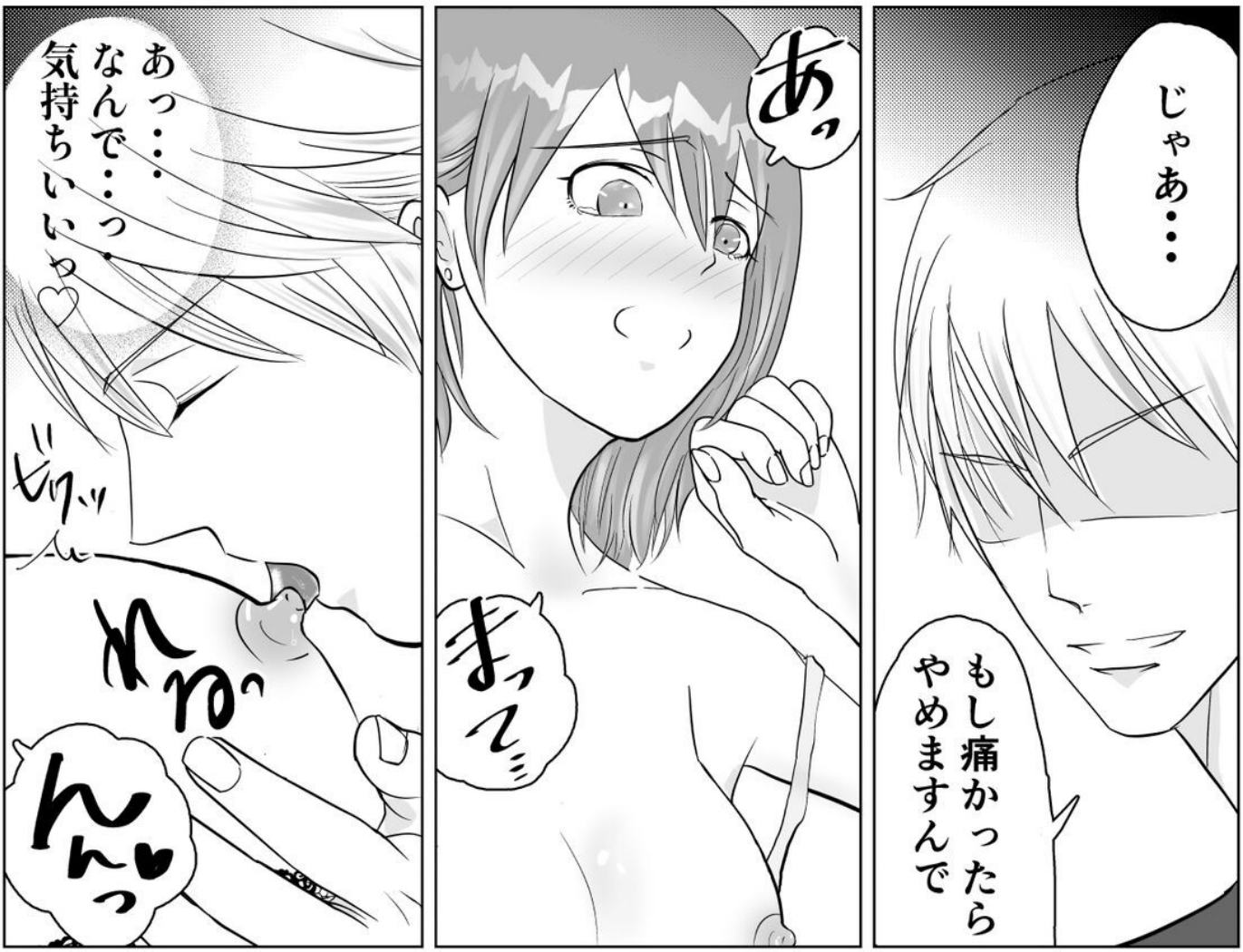
なんなら
挿れなくても
いいですし
まあ、ねだられたら
挿れますけど——
にこっ
なっ・・・!
テン君!
ドキッ
ふふっ
それくらい
がんばります——
どうしよう
テンくんの——
トクン・・・
言葉だけで
感じちゃうって
何でなの・・・
じゃあ
そらさん——
っ・・・!
ちゅ
ちゅ・・・
はあ・・・っ・・・
もう——
逃がさないんで

あ…
んんっ
…っ
なんで…
さわっ
はあっ
胸、触られるの
痛くて…
ヤだったのに
もぐ
もぐ
あっ
服の上から
優しく
摘まれるだけで…
はあっ
声——
止まんないっ
ふふっ…
かわいい声
あっ
そらさんが
気持ちよさそうで
何よりです——
元カレにされたときと
ぜんぜん違う——
ドキドキして…
気持ちいいよぉ

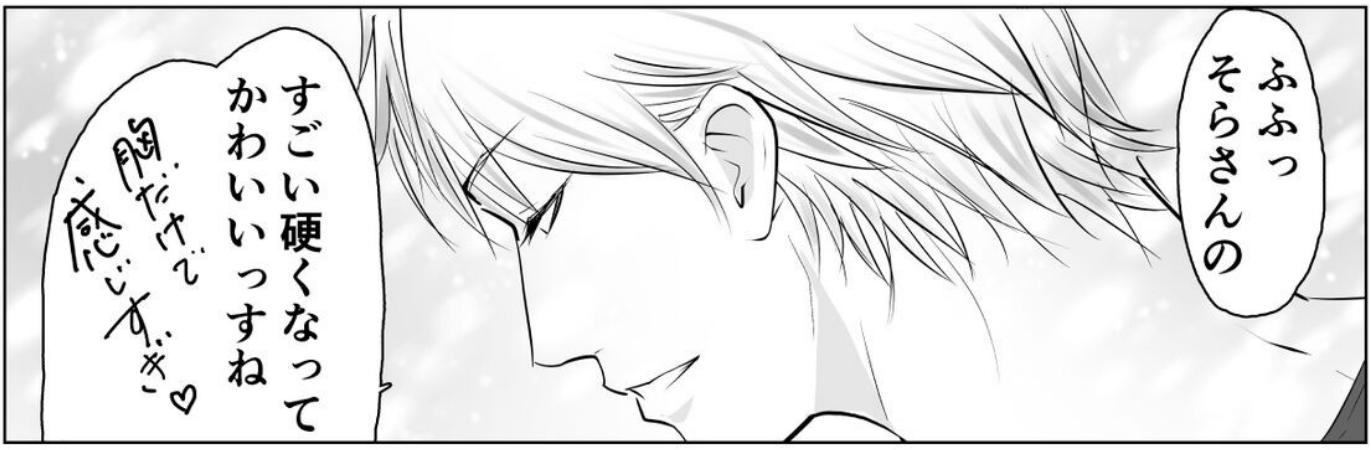
少し触られただけで――
・・すごい濡れちゃってる
しわっ…
テンくん・・気持ちよくて怖い・・・！
あっ
――・・・
マジっすか
めっちゃ嬉しいっす・・・！
じゃあ・・・脱がします、ね
えっ！待って、ちょっと恥ずかしいっ・・・！
ゴソ…
ふふっ
すごい綺麗です♪

テンくんの
指も言葉も
気持ちよくて―
ぱさっ
ぶるっ
あっ
どうしよう―
恥ずかしいのに
あっ
もっと
触れられたい
胸で感じてくれて
よかった・・です
でも・・
もっと
あなたを
気持ちよく
したい―

テ・・ンくん！
えっ・・・
このまま・・・!?
大丈夫っす
綺麗なんで♪
そらさん
隠さないで
ください――
うそっ
これ・・・
全部脱ぐより・・・
恥ずかしい・・・っ
もじっ


じゃあ・・・
もし痛かったら
やめますんで
あっ
まっ
あっ・・・
なんで・・っ
気持ちいいっ♡
ビクッ
んっ♡

元カレに――
されたときは
痛かったのに
すとんっ
あ
気持ちいい…
ビクッ
んっ


ふふっ
そらさんの
すごい硬くなって
かわいいっすね
胸だけで
感じすぎ♡

うそ、
あっ、テン君
ビクッ
ちゅく…
怖い
待って…
えっ――
うそ、乳首だけで
…っ？
…待ちません♡
イかされ、
ちゃう――…
ビクッ
あ♡

ぁあああぁ!!
んっ…
…はぁ♡
…っ!
ビクビク…
はぁ
自分のカラダじゃ…
ないみたい…気持ちいい——
ビクッ
ビクッ
はっ♡
あっ!待って——
ワナワナ…
待ちません もう一回
ああああっ♡
こんなにあっけなく また——
下着の上から…揺らされただけで…
ビクッ
ビクッ
じわ…
レロッ

あっ
ふふっ
はあっ
もう
カラダ動かない
よう・・・
かわいい・・・
下着も全部、
脱がしますね
テン君・・・
はっ
ゼクッ
気持ち良すぎて・・・
私ヘン、かも
ゼクッ
ゼクッ
あなたは―
不感症なんかじゃ
ないです
すごい・・・
今までの相手が
悪かっただけ―

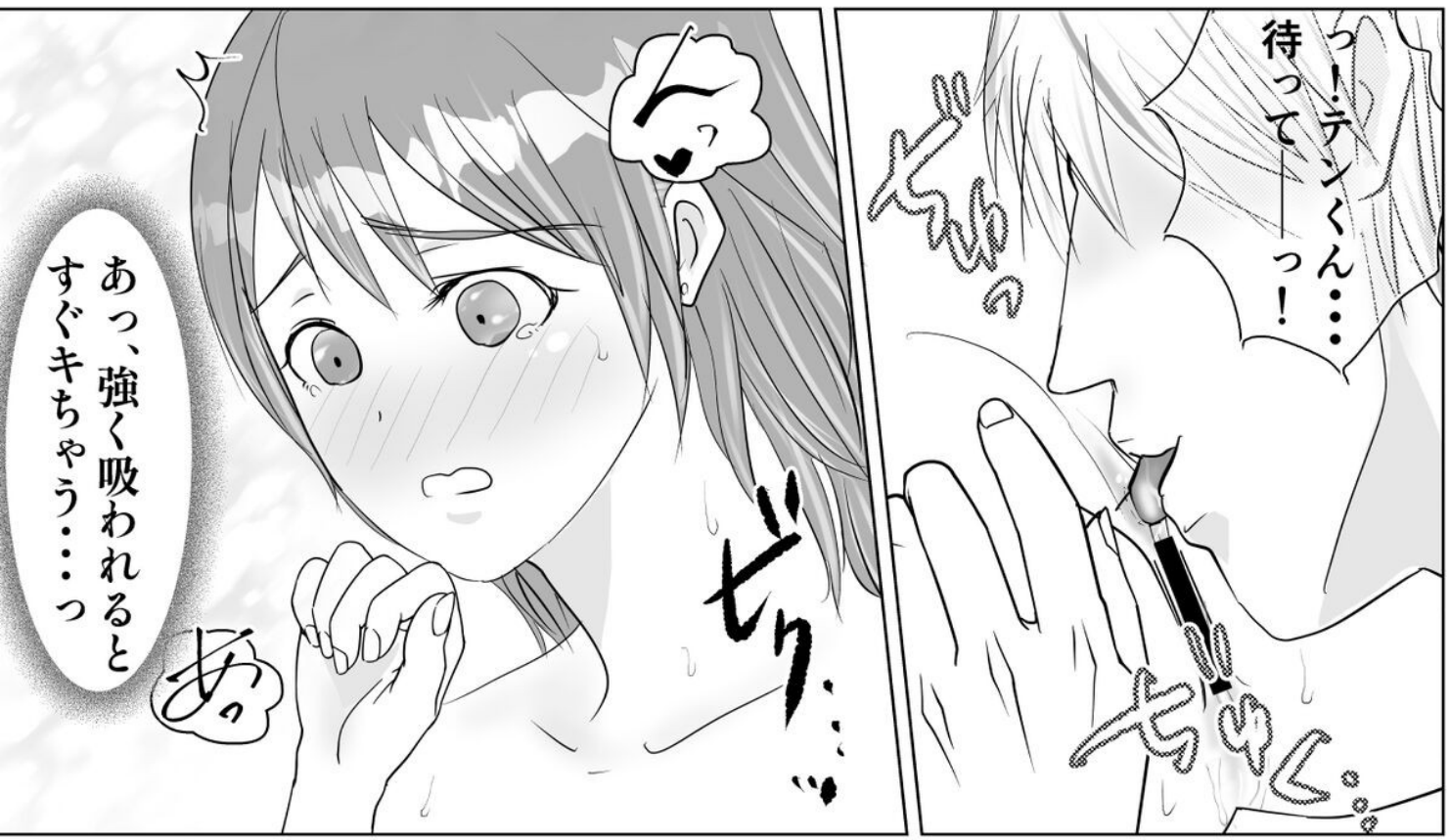
もっと
俺で感じて・・
いくらでも
乱れちゃって
ください・・・
どうしよう
気持ちいい——
ドク・・・
テン君に
触れられた場所・・・
全部が・・・もう——
ちゅ
ちゅ・・・
ちゅっ・・
はあっ
時間が
止まれば
いいのに
そらさん
マジかわいい
・・・・

はあっ
ふふっ
キスだけで
とろっとろっすね♡
ん♡
はあっ
じゃあ—
俺も
脱ぎますんで
ゴク…ッ
とろ…
…っ！
テンくん—
ドキッ
ドキッ
すごい…
カラダも…かっこいい
ドキッ

じゃあ…
痛かったら
やめますんで
ぐいっ
えっと
ドキッ
何を…
するのかな…
ひゃあっ
待って…！
れろっ
そらさんの
クリ…
小さめで
かわいいっす、ね
ちゅっ…
——何度も…
吸われると…
あっ、うそ…
もう…
イっちゃうよぉ——
ちゅっ
あんっ！
ビクッ
ん？
ぁあ——っ♡
ビクビク
しゅっ…

吸うと・・
すぐ大きく硬くなって
あっ・・・!ん♡
素直なクリですね♡
あっ
とろ〜
やぁっもう・・・!

いま・・イってる・・からぁ・・
痛かったらやめますけど
気持ちよくてもやめません・・・ので
なっ・・・!


っ!テンくん・・・待って——っ!
あっ、強く吸われるとすぐキちゃう・・・っ

ぁああ…
あっ…あ―♡
ビクッ
リビクッッ
元カレとのときは
イったことなかったのに――
今日だけで…
テン君に何度も―
トっ
テン、、、くんっ♡
はあ♡

ふふっ…
いっぱい感じてくれて嬉しい…っす
せっかくなんで
もうちょっとクリ開発しましょう、か
ふぇ、、、
えっ！

では、クリキャップ使いましょう
にこっ
あ――私が買ったやつ！
やだっ!!それ・なんで!?
ベッドの下にありましたよ
・・・っ！
恥ずかしくて死にそう・・・
それ・自分で使ったけど
痛くてダメで――
大丈夫オレが良くします
あっ
やあっ！
ビクッ
ぐちゅっ
ぐちゅっ
んっ
ぬちゃ
クリ、おっきくしておいたんで
うまく吸われて倍くらいに大きくなってますよ
あっ
クリが――すごい引っ張られて・・・じんじんする・・・っ

ふふっ・・
小さな
おちんちん
みたいっすね
あ・・・
ダメっ♡
あっ
ビクッ
ビクッ
つんっ
ゼク

やだ、なんか・・・
また、ヘンに
なるよう――
いっぱい
なって
ください♡
ビクッ
ビクッ
あっ♡

あっ！テンくん・・・
引っ張らない・・で！
どうしよう、クリ・・・
気持ち良すぎて――
ビクッ
ゼン・・・
――あっ、ヤダ・・・
また――！
ビクビクッ

ぁあ…
あっ…
あ―!!
はぁっ♡
ゼッ
ゼッ
ほんと…
にこっ
かわいいっす

いま…
クリ吸われて
肥大化してるんで
ズリッ
次これ―
使いましょう
えっ
次って…

空気振動で
クリ吸引する
グッズっすね♡
これもベッド下にありました
ずっ
あっ!
もうヤダ…
また私の―!!

テンくんっ
がばっ
そっ、それも自分で・・・
使ったけどなんか痛くて・・ダメで
じゃあもし痛くなったら言ってください
え・・・っ
ん…
そんなの…ふ…っ
たぶんいまの、そらさん
かなりやばいと思いますコレ・・・
カオ…

ブブブブブ
待って！
…ダメっ
あん
ふふっ♡
待てないっす
痛くは——
ブブブ…
なさそうなんで
にぃぃ♡
もっと…
強くしますね
カチッ
やだ、
うそ！

なんで…っ
ビクッ
んっ——
あああああっ——♡
あぁあぁ
クリ…引っぱられて——
揺らされて…もう
イッてる…よぉ——!!
ビクッ
ウウウウウ
じゅぽ(3;;

はあっ
自分のカラダがこんな――
あっ
ゾクッ
とろっ
何度も気持ちよくなれるなんて知らなかった――
そらさん、不感症どころか
即イキ・・・
早漏(そうろう)っすね
ゾクゾク
はあっ
ゾク
かわいすぎ――
んっ
俺は――今晩だけで満足できるのかな・・・
じゃあ次は・・・ナカも開発しましょう

そのまま
力抜いてて
ください——
ゾクッ
ぴくっ…
びくっ
はあっ…
んっ…？
テン…くん？
くちっ…
あっ…
ナカ、ちょっと
怖い…かも
ぐっ…ぷっ
あっ、あ！
ナカ
凄いっす…
とろっとろ——
えっ——
痛くない…
あっ
くちゅっ
ぐぽ…
それどころか…
にちっ
くちゅ…
めっちゃ
溢れてきますね
あっ…♡
テンく…ん！

ナカも
気持ちよさそうで
何よりです――
まだ――
ナカだけじゃ
ムリだと思うんで
クリも
触りますね♡
あっ、やだ!!
テンくんっ…
また――
あっぁあ
あああぁ――
なんで…?
ずっと…
イっちゃってる
――っ…
ふふっ――
そらさん…
たぶんもう、イキ癖
ついちゃったんで――

ぬぷぷぷ…
次は・・・
ナカだけで
イってみましょう
クリゅっ
あっ♥
入口近くの
上のとこ・・・
ズク
やさしく
触られた・・・
だけなのに
うそ・・・
漏れちゃう――
イっちゃう・・・!!
ぷしゃ
あっあっ・・・
やだぁっ―!!
ぁあああ―♡
ビクン
ビクーン
はあっ
はあっ

……っ――――
ナカでイクと
こんな深い…の…？…

…ら、さん

…ん

どうします、
そらさん？

なあ…

……
ふぇっ？

覚えてません？

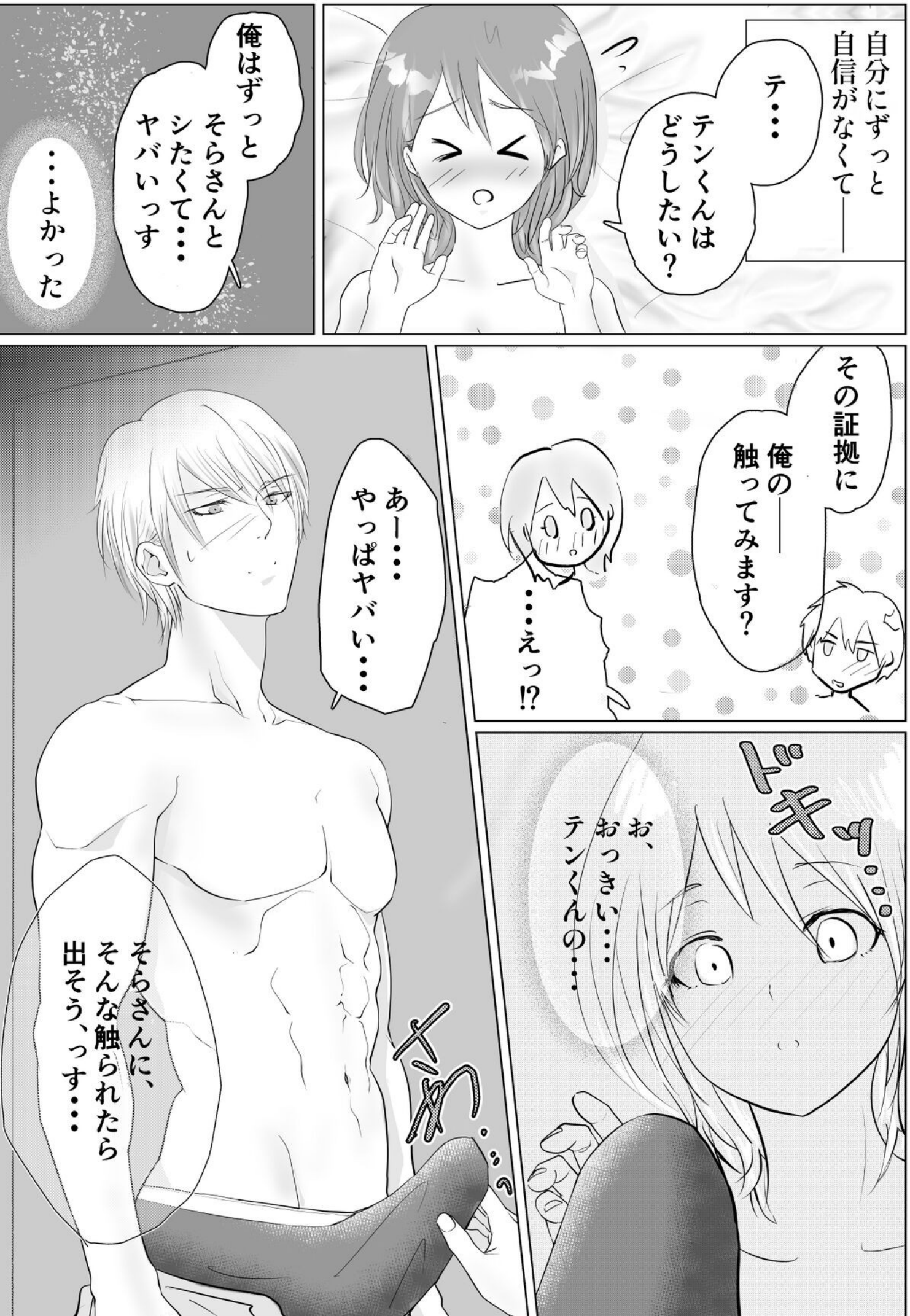
ねだられたら
挿れますよ、って

あ…っ！

どう、したいですか？

テン君…

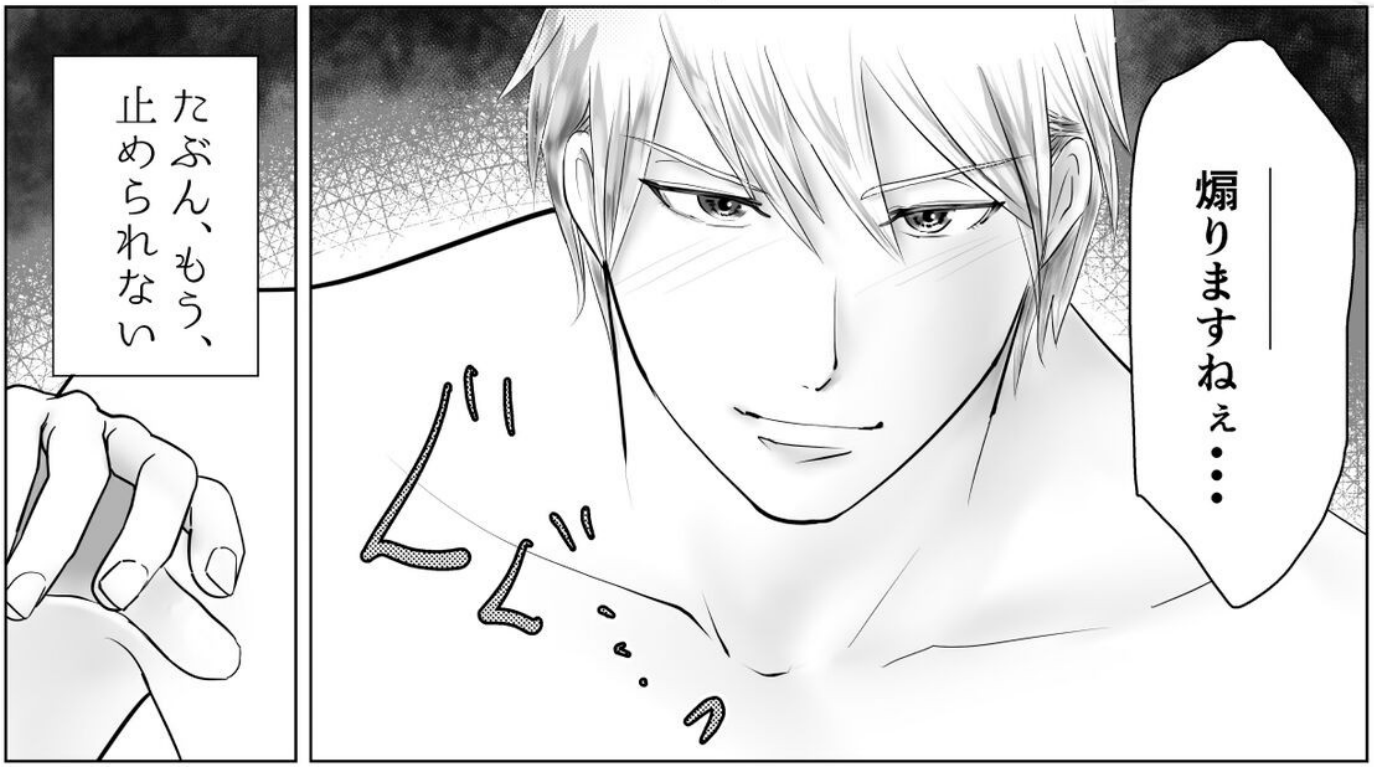
私…


自分にずっと
自信がなくて――
テ・・・
テンくんは
どうしたい？
俺はずっと
そらさんと
シたくて・・・
ヤバいっす
・・・よかった
その証拠に
俺の――
触ってみます？
・・・えっ!?
ドキ・・・
お、
おっきい・・・
テンくんの・・・
あー・・・
やっぱヤバい・・・
そらさんに、
そんな触られたら
出そう、っす・・・
すり・・・

ごっ
ごめん・・・！
がばっ
どうしよう
もう、本能で
テン君のが、
欲しい・・・
もし・・・
痛かったら
言ってください
ビキッ
ぱっ
ぬぁ・・・
とか言って
ちょっと・・・途中でやめれるか
自信ないっす、けど――
ぐいっ

ゆっくり
慣らしますんで・・・
ぬ〜っ
ぐちゅっ
ぬ〜っ
はあっ
何!?これ——
ぬ〜っ
はっ
あっ
ぬちゅっ…
ん?
ゼクッ
テンくんので
入口のトコ、擦(こす)られると
気持ちよすぎる——
ぬちゅっ…
ぴくっ

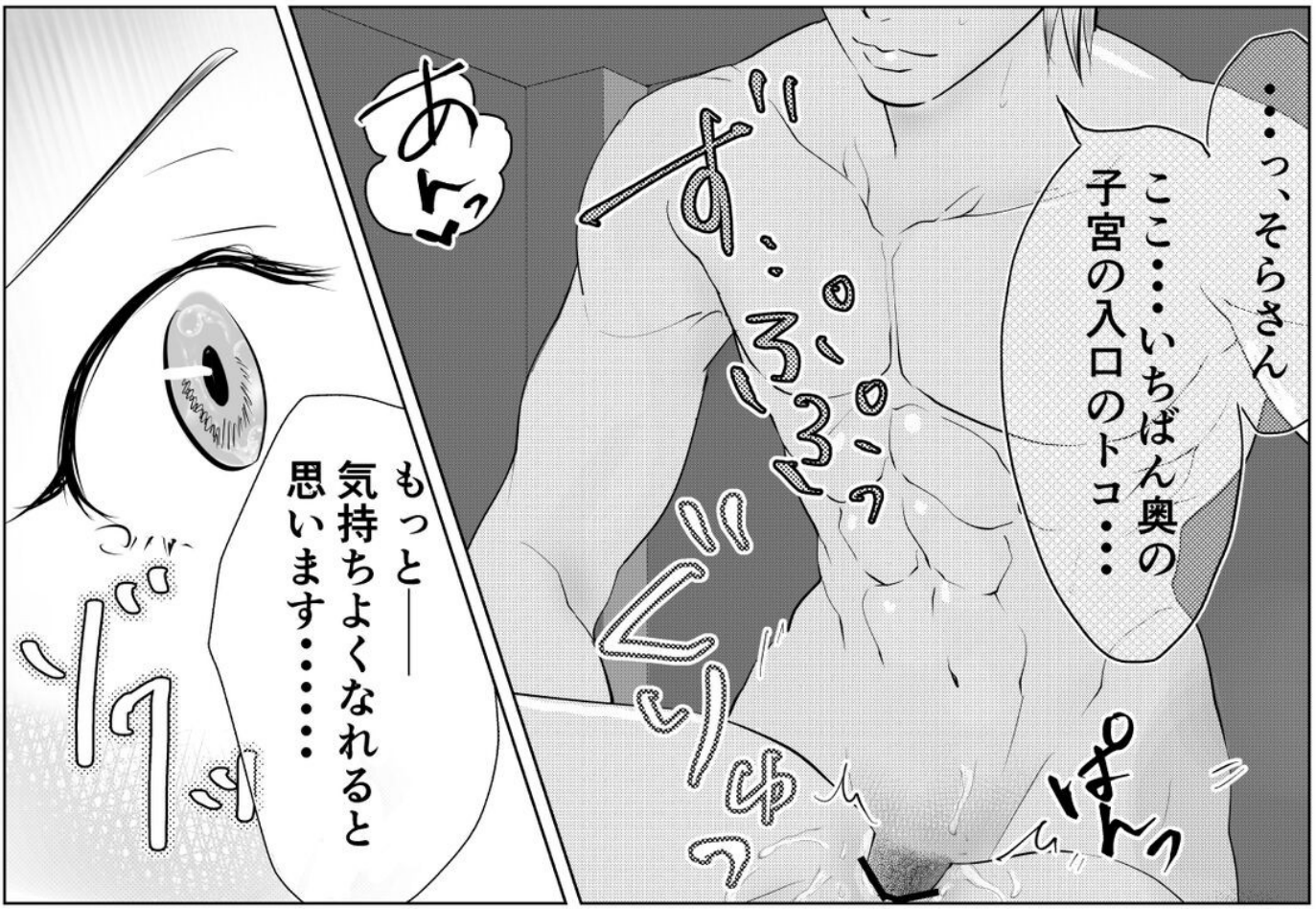
ぬぷっ…
とろとろの入口…
ずっと——
ぐちゅぐちゅされて
くちゃっ
あっ
テンくんっ
もう…ムリ…！
ヘンになるよう…っ！
ゴクッ…
ヨすぎるよう…♡
トン
ちゅくっ
ぢゅくっ

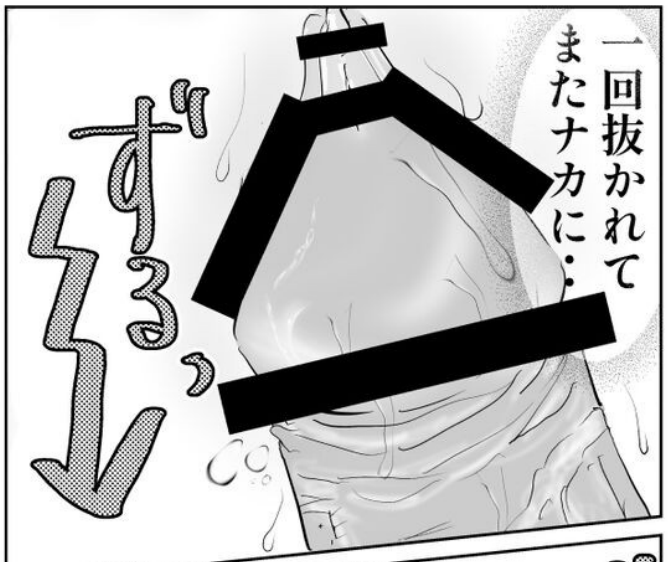

煽りますねぇ…
ぐぐ…っ
たぶん、もう、止められない

じゃあ…
…力、抜いてください
ぎゅっ…
あ、すごい――
おっき…い…！
ぐりゅっ
あっ…
ぬぷぷ…
ビクッ
あんっ
これで…
いちばん太いトコは
入ったんで――
ビクッ
ぐぐぐっ
じゃあ
動きますね――

ゼクッ
あっ…
すちゅ…
うそ――
いきなり奥まで…
ぐぐっ
やっぱい…
そらさんのナカ
狭い…！
俺の――
もっと奥まで届くんで
えっ
もう…
奥までっ…きてる
よおっ…！
ぐちゅ…っ
まだ…
限界まで…
挿れますね
あっうそ
テン君…
ぐぼっ…っ
ああ――っ…
あああああっ――…！
ズン
ビクッ

は・・あっ、カラダ貫かれてる――！
そらさん・・・
めちゃ濡れてんのにマジ、狭すぎ・・・
あと――俺のやつ、長いみたいで、全部はおさまらないっすけど
ここが――・・・いちばん奥ですね
・・・ん！
あ、うそ――こんな奥まで・・・
ふふっ、クリ勃ってててかわいい――
テン君のがあたって――意味わかんない・・


…っ、そらさん
ここ…いちばん奥の
子宮の入口のトコ…
ずぶっ
ぐりゅっ
ぱんっ
あんっ
もっと——
気持ちよくなれると
思います……
ぱんっ


一回抜かれて
またナカに…
ずるっ

ぐちゅっ
ぜんぶ…
気持ちいい
ぬぷぷっ

んっ
あっぁ…
あぁあぁっ——♡
ぱんっ
奥で…初めて
イっちゃう——!!
ぱちゅんっ
ぷしゅっ
あっ
ぬちゃっ

あ・・・っ
イってるのに
突かれてる・・・っ
ぱんっ
ああっ・・・
ダメええ——っ♡
えぐ
ぐりっ
そらさん・・・
ナカイキすると
はあっ
ぐぷっ
ぐりっ
マジ締めすぎ
・・・出るとこ
でした——
あっ
ぐりっ
もう一回
聞きますけど
頭が・・・
真っ白で
テンくんの声が
遠くで聞こえてる
どこが
不感症、ですか？

まだ、ずっと…
ちゅっ
トっ
テンくんの
ナカで大きいまま…
あ
ビクッ
ビクッ
くちゅ
はあ…っ
くちゅ
…あ…っ
テンくん…
はあ
ちゅっ
ずっとずっと
気持ちよくて…
びくっ
ビちゅ
ヘンだよう——
おかしくなる…！
ドキッ
まーた…
煽ってくる
この人は

ホント
知りませんよ・・・！
ふぇ…
じゃあ——
今度は
オレの上で——
はぁ
はぁ
ぐちゅ…っ
もっと奥まで——
感じてください
あん
ぬぷっ
ぐちゅ
ぐちゅ
あっ
ぱんぱんっ
あんっ
・・・っ——！
かわいすぎ、でしょ
オレ——
もう手加減
できない、んで・・・！
えっ・・！

さっきと違うトコにあたって――
あっ
ぱんっ
あっ…また…っ！キちゃう…！
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ

じゃあ…
…力、抜いてください
ぎゅっ…
あ、すごい――
おっき…い…！
ぐりゅっ
あっ…
ぬぷぷ…
ビクッ
あんっ
これで…
いちばん太いトコは
入ったんで――
ビクッ
ぐぐぐっ
じゃあ
動きますね――

ゼクッ
あっ…
すちゅ…
うそ――
いきなり奥まで…
ぐぐっ
やっぱい…
そらさんのナカ
狭い…！
俺の――
もっと奥まで届くんで
えっ
もう…
奥までっ…きてる
よおっ…！
ぐちゅ…っ
まだ…
限界まで…
挿れますね
あっうそ
テン君…
ぐぼっ…っ
ああ――っ…
あああああっ――…！
ズン
ビクッ

は・・あっ、カラダ貫かれてる――！
そらさん・・・
めちゃ濡れてんのにマジ、狭すぎ・・・
あと――俺のやつ、長いみたいで、全部はおさまらないっすけど
ここが――・・・いちばん奥ですね
・・・ん！
あ、うそ――こんな奥まで・・・
ふふっ、クリ勃ってててかわいい――
テン君のがあたって――意味わかんない・・

フェレ恋♡
愛しのペットとHしちゃうって
不感症のはずなのに
クリもナカも開発されちゃいました